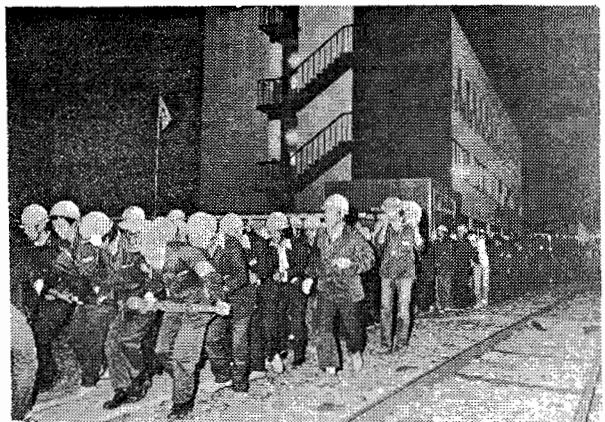


労農連帯を一層強め、三里塚・ジエット闘争を貫徹しよう！

# ストを支え 写真特集

# 鉄路を武器に備蓄ゼロへ！



## 動労千葉の決起による支援・激励

（一部のみ紹介）

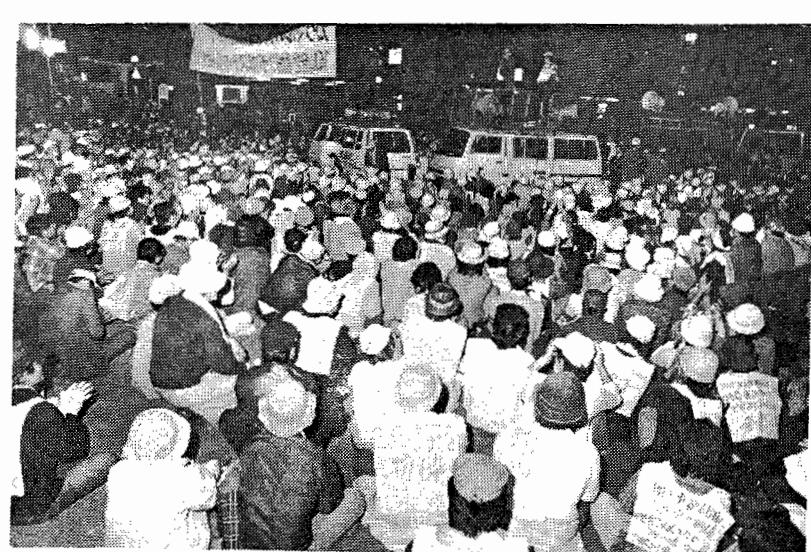
「私たちの闘いは正義！」  
二波にゆたるストの中軸を  
担つた東務員分科を代表して  
大野成田支部東務員分科事務  
長が感動的な決意表明。

構内を席巻する戦闘的戻モ。

全金本山支部（八重樫執行委員長）

十一・一ジエット燃料増送阻止。  
反合ストに決起された動労千葉の皆  
さんに心からの敬意を表します。  
皆さんの労働者の先頭を行く断固  
たる闘いに学び、私達も上級機関の  
除名処分という厳しい状況を突破し  
抜く決意を新たにしました。

これからあらゆる弾圧がくると思  
いますけれども、最後まで共に闘い  
抜きましょう。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

10月31夜のスト貫徹総決起集会には組合員500名、反対同盟・支援労組200名が結集。オーバーを上まわる熱気のうちにスト突入を宣言。反対同盟は120名の全戸動員でかけつけてくれた。挨拶に立つ内田行動隊長。

（日暮成田支部長）「お天道様の下を胸をはって歩ける労働者になる」（村上前成田支部長）と、労農連帯を求め真に闘う労働者＝労働組合のみが心の底から語れる言葉をものを見事に実現した。10・21～22第一波ストライキに引きつぐ第二波11・1ストライキは、政府・空港公団・国鉄当局に甚大な打撃を与え、なによりも動労「本部」反動分子の「国家権力、当局と手を組んで動労千葉の闘いをつぶす」という反階級的姿をより鮮明にさせたといえる。11・1ストは、真に労働者の利益を守り八〇年代の労働運動を構築するものこそ動労千葉の闘う路線であることを多くの労働者に確信させた。さらに確信も新たに「鉄路を制し、鉄路を武器に、国鉄三五万人体制攻撃粉碎・ジエット燃料備蓄ゼロへ」突き進もう。

## 動労千葉1400の凶魂を示した10月31日、オーバー減産・スト

79.11.5  
No. 267

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二三五八九九・(公衆)四三二二七二〇七